

発言通告書（総括表）

平成27年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	永田議員 (自民)	国際教育について 皇居周辺環境整備について	語学だけでなく多様な異文化を理解し、自国の文化を発信できる教育が必要ではないか。 本区の国際教育への取り組みと成果を問う。 東京五輪開催に向けて都市部が大きく変貌を遂げようとしている中で、本区はどのような方針で臨むのか。	区長、教育長 及び 関係理事者
2	小枝議員 (声)	1、地域コミュニティ活動の 一元化及び支援強化について 2、社会教育施設としての 「軽井沢少年自然の家」廃止 方針の見直しについて	○地域コミュニティの一元的な推進の施策として、文化芸術、生涯学習、スポーツ、地域活性化事業などに関する計画期間を統一し、それに合わせてニーズ調査と現状把握を5年ごとに行い、共通の土台の上で、拡充策を協議できるようにしてはどうか。 また、千代田区における地域コミュニティにねざしたさまざまな団体について、生涯学習館のみならず、出張所、まちみらい千代田、社会福祉協議会、高齢者センター、などで取り扱っている団体の登録を一元化し、区HP等で分野ごとに分類表示し、相互に交流できるようにしてはどうか。 ○そうした、地域コミュニティ団体の育成、情報提供、さまざまな相談、団体間のコーディネート機能を有する事務局を設置すべき。 ○さらなる活動拠点の確保について、ほか。 ○軽井沢少年自然の家、およびメレーズ軽井沢廃止を前提の代替施設の予算措置をやめ、社会教育施設として平成28年度も予算措置を行い、第一期施設も含め、利活用、コミュニティ、生涯学習団体への利用優遇など、廃止を前提とした恣意的誘導をせず、将来に向けての開かれた協議を行っていただきたいがいかがか。	区長、教育長 並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成27年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	米田議員 (公明)	1. 平成28年4月1日に施行される障害者差別解消法について 2. 難聴者補聴器活用について	①高齢者、障害者福祉関係職員の研修「読み書き（代読、代筆）情報支援技能習得研修会」の早期実施を提案する。 ②大活字図書給付事業制度の拡充を求める。 ①補聴器購入の助成のさらなる拡充を求める。 ②難聴者への積極的な補聴器活用と周知を提案する。	区長および 関係理事者
4	飯島議員 (共産)	1) 主権者教育について 2) 高齢者の外出支援について	来年6月19日以降に行われる選挙から、有権者年齢が18才に引き下げられる。主権者として成長できるよう、学校教育のなかでも「憲法」「子どもの権利条約」で保障された積極的な取り組みが必要。 福祉目的の「風ぐるま」が刷新される。これによって、外出が困難になってしまう場合が生じることもある。高齢者の外出を支援するための施策を求める。 ①小型車両の併用 ②高齢者福祉タクシー助成	区長ならびに 教 育 長
5	牛尾議員 (共産)	(1) 子どもの増加に対する区の施策を問う (2) 学びへの経済負担軽減を	・子どもの増加に伴う施設整備が求められる。 ①今後も増加が予測される認可保育園待機児の解消を区はどのように行うのか、区の姿勢を問う。 ②子育て世代が充実を願う公園、遊び場の整備についてとりわけ神田地域での整備について問う。 ・親の所得によって子どもが学ぶ機会が奪われないよう低所得者向けの給付制奨学金創設を求める。	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成27年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	池田議員 (自民)	千代田区まち・ひと・しごと 創生総合戦略の策定方針につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・国が進める「地方創生」は、地方の人口減少に歯止めをかける、東京一極集中の是正、を目指している。 千代田区の魅力を効果的に発信し、地方との連携を推進していき区内地域の活力を高めるための取り組みについて。 人口増加の傾向にあり、東京の中心という特徴をもつ千代田区も「地方」のひとつ。千代田区の考え方は？ 	区長及び 関係理事者
7	山田議員 (自民)	ワンルームマンションにつ いて コミュニティサイクル「ちよ くる」について 道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンルームマンションが地域社会に及ぼす影響について ・サイクルポートの偏在解消について区の認識 ・電線類地中化、区はどのように整備していくのか ・歩道の拡幅、カラー舗装化について 	区長及び 関係理事者
8	林議員 (千代田)	○小・中陸上競技大会を広い 競技場で ○子ども・子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連合行事（小・中陸上競技大会） ・国立競技場が東京五輪開催決定後に外濠公園になった経緯と今後の対策 ・人口推計の上振れの検証 ・麴町保育園三番町仮園舎の活用 ・保育供給の限界値とは？ 	区長、教育長 並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成27年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	岩佐議員 (紡民)	1. コミュニティを醸成する 公開空地等の活用と緑化の推 進について 2. 選挙権年齢引き下げにつ いて	まちづくりの中で計画的に緑化を進めつつ、その維持・管理をコミュニティ形成の契機にできないか。 また、公開空地等を緑化推進・コミュニティ醸成のために有効活用できないか。他 教育の在り方と政治活動、啓発事業と投票率向上等選挙年齢引き下げに伴う様々な課題についてどのように対応するのかを問う。他。	区長および 関係理事者
10	たかざわ議員 (千代田)	①客引き防止条例制定後の成 果と課題 ②介護予防対策について ③千代田区保健福祉オンブズ パーソン平成 26 年度活動報 告書について	客引き防止条例施行後の成果と課題についてどのような認識か 健康寿命を保つための介護予防対策について 指摘事項についての受け止めかたとその対応について	区長及び 関係理事者
11	岩田議員 (維新ク)	AED の運用における有資格者 の配置について 体育の授業における専門の指 導者の起用について	区内の学校には AED が配備されているが、それを使う立場の人間の教育は、どのようになっているか。 専門性のある指導者を起用することによって、ジュニア選手の裾野を広げるだけでなく、授業中の重大事故防止にもつながる。今後の区の方針をお尋ねしたい。	区長ならびに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成27年 第4回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
12	寺沢議員 (紡民)	1. 避難所防災訓練と避難所 運営協議会について 2. 子どもの貧困について	<p>東日本大震災から4年が経過したが、心のケアも含め復興は終わっていない。被災地はまだ助けを必要としている。一方、首都直下巨大地震については、新宿の都庁周辺で今後震度6弱以上の大地震が起こる確率がこれまでより20%上昇したと地震調査委員会が公表。明日発生してもおかしくない大規模な震災に自助・共助・公助は必須だが、避難所運営協議会と避難訓練の在り方について問う。</p> <p>どうすれば子どもの貧困を減らせるのか。 相談しやすい場所、経済支援、一人親が働ける環境、千代田区の中で今年に入って母子の相談が去年の3倍程度と激増している。 その対策について問う。他</p>	区長及び 関係理事者